

小規模多機能ホーム きいちご倶楽部
令和8年度第2回 地域運営推進会議

出席者 民生児童委員

地域代表委員

出雲市高齢者福祉課

出雲高齢者あんしん支援センター

理事長

管理者

計画作成担当

配布資料

- ①会議資料（本資料）
- ②小規模多機能型居宅介護サービス提供状況票
- ③きいちご便り no. 51

1. ご利用の登録状況

7月28日現在、登録利用者は13人です（登録定員：25人）

要介護度と男女別の人数は次のとおりです。

	男性	女性	計
要介護1	2	4	6
要介護2	1	2	3
要介護3	1	1	2
要介護4	0	1	1
要介護5	0	1	1
計	4	9	13

平均要介護度：2.08

年齢と男女別の人数は次のとおりです。

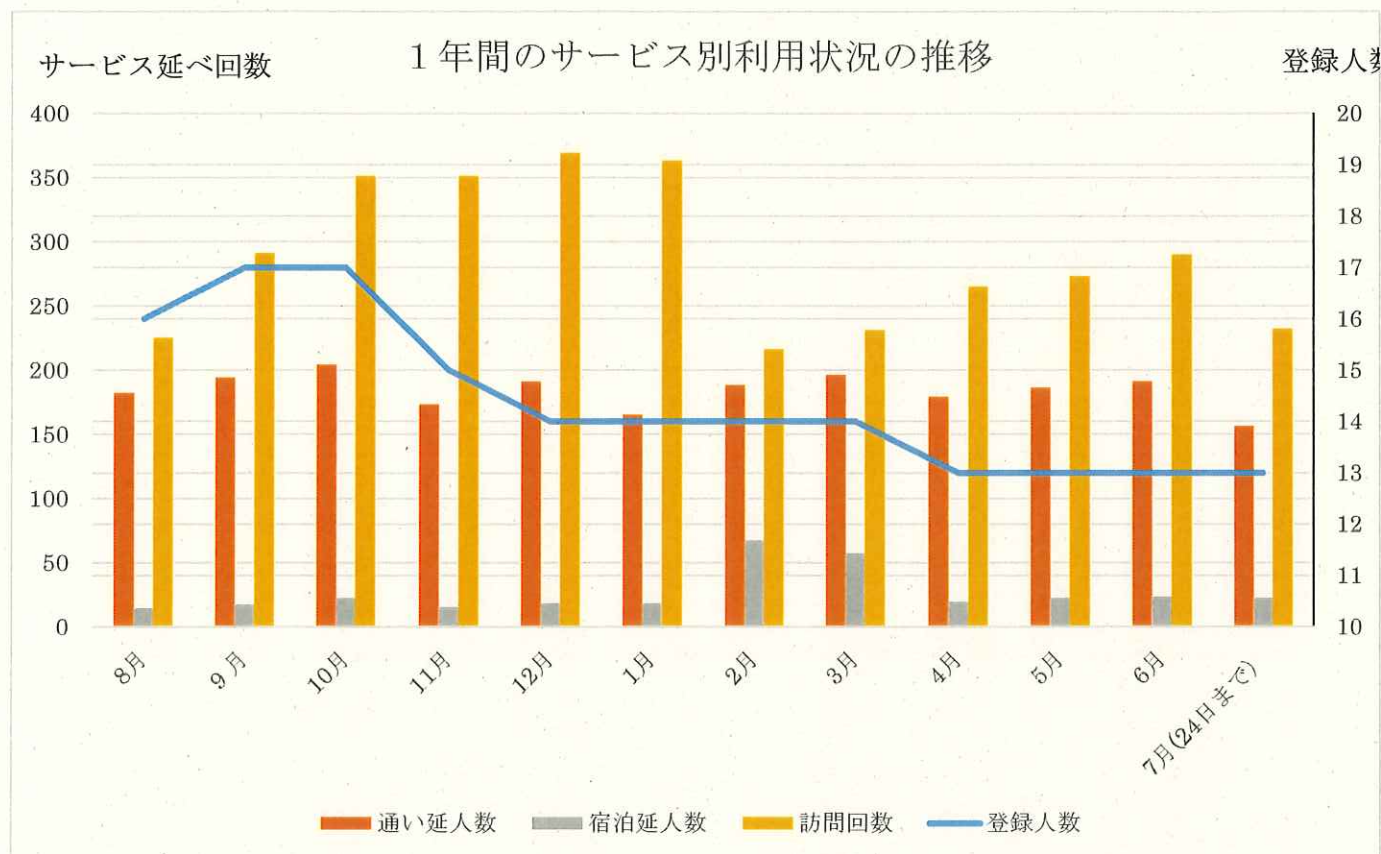
年齢	男性	女性	計
60歳代	1	1	2
70歳代	0	1	1
80歳代	3	3	6
90歳代	0	4	4
計	4	9	13

平均年齢：86.1歳

2. サービス提供状況の推移

最近 3 カ月の実績（延べ回数）

	登録者数	通い	訪問	泊り
5 月	13	186	273	22
6 月	13	191	290	23
7 月 (24 日まで)	13	156	232	22



別紙「小規模多機能型居宅介護 サービス提供状況票」もご覧ください。

3. 行事・レクリエーション・活動など

別紙「きいちご便り no.51」をご覧ください。

委員：世代間交流が多いのがこの法人の特色になっていいと思う。

理事長：保育園の夏祭りに出店し、ご利用者が店番をしてくださり園児との交流が出来て喜んでおられた。月に一回くらいは保育園との交流があるように誘っている。

4. 研修

<内部研修>

6 月職員会 接遇

7 月職員会 リスクマネジメント（7 月 28 日予定）

<外部研修>

7 月 7, 8 日 防火管理者研修

6 月 24, 25 日、7 月 30, 31 日（～10/1）認知症介護実践者研修

5. 事故、ヒヤリハット：6月～7月

<事故> 2件

1. 要介護 2、70 歳代の女性

発生時の状況：通いの利用中、午睡の時間に落ち着きなく玄関とベッドを行き来されていた。ベッドに座りそこねてしりもちをつかれた。

傷病の状況：直後は痛みはないと話される。

2. 要介護 3、60 歳代の女性

発生時の状況：通いの利用中、部屋で過ごしておられた。離れたところから部屋を見ると姿が見えなかったので訪室するとベッド下に転落された直後だった。

傷病の状況：鼻の発赤、上唇裏 2 センチの裂傷あり。転倒が原因かはわからないが、歯のぐらつきもあった。受診され、その後お変わりない。

対策：眠気が強い時などはセンサーの位置を近づける。

<ヒヤリハット・インシデント>

14 件挙げられた。その内容別の件数は次のとおり。(7/24 まで)

薬 2 件（点眼忘れ、薬のセットミス）

記録・連絡 3 件（連絡帳の確認不足、予定の記入漏れ）

送迎 1 件（運転中にベルトを外す）

食事水分 1 件（外部からの弁当が糸を引いていた）

傷 2 件（自宅で顔面に打った痕を発見する、散髪後に後頭部に赤みあり）

その他 5 件（車いすのアームレスト外れている、自宅に残された味噌汁から紙紐が出てくる、杖忘れ、掃除用洗剤で手を洗う）

6. その他

<きいちごサロンの実施状況>

4 月、5 月、7 月に実施した（6 月は中止）

ミュージック・ケア、歌唱を中心に行う。子どもさんの参加もあり、高齢者の参加者はその様子に笑顔が多かった。住民の参加は 4 月に 2 名あったのみ。暖らんのご利用者も参加される。

きいちご倶楽部近くを中心に案内を配布した。塩冶郵便局、JA 塩冶支店、塩冶学童保育にもちらしを配っている。今後も月 1 回実施してゆきたい。

6月17日 11:46~12:20頃、塩冶地区など停電した。昼食の支度の時間だったが、問題なく提供することが出来た。しばらくエアコンが使えず、うちわなどを使って暑さをしのいだ。その後食事が終わるころには電気がついて、いつも通りに過ごされた。体調不良などは無かった。

暖らんはなかなか復旧せず、14:30頃に数名のご利用者がきいちごに来られた。お茶を飲んでレクリエーションも一緒に行い、交流が出来て楽しんでいた。

委員：非常電源などはないのか、もし停電や災害などで長期になった場合どうなのか心配。

計画作成担当：今は非常電源などは用意していない。小さいポータブル電源などは、補助金の対象になっているが、検討まで購入には至っていない。

委員：ポータブル電源などではエアコンの稼働までは難しいと思う。

職員が勤務終了後に体調変化ありコロナ陽性が確認された。BCPのマニュアルに沿って接触状況の確認やご家族への連絡をした。ご利用者、職員への感染拡大を防ぐことができ、改めて初期対応の流れや重要性を確認するいい機会になった。

委員：前回話のあった、親子で利用しているお二人はその後どうか。

計画作成担当：以前よりは通いの回数、訪問回数を増やしている。市役所にも相談はしているが、できるだけ二人での生活が続けられるように、と思って頑張っています。

もしどちらかに何かあって離れることがあれば、息子さんは一人で過ごすことは難しいと思う。

委員：登録を増やすつもりがあるか。

計画作成担当：増やしたいとは思っているが、なかなかお話しがなかったり、ご利用に結びつかないことがある。

委員：市役所では、空き状況の調査をもとに、小規模多機能のほうにも問い合わせるような動きになっている。新規の話が今後あるかもしれない。

計画作成担当：一度には受け入れられないので少なめに人数を入力していた。

委員：調査には空きがあることをきちんと入れた方がいいと思う。

管理者：今後はそのようにしていきます。